



看護問題対策委員会ニュース

全日本赤十字労働組合連合会 NO. 13-03 2013. 9. 9

日本医労連 2013年看護要求実現全国交流集会 開催 心身にやさしい夜勤を「正循環」・「週32時間」

9月4～5日、「伊東温泉ホテル聚楽」において、医労連の看護要求実現全国交流集会が開催され、全国から241名（内、全日赤は24名（県医労連からの参加も含む））が参加しました。初日は、神戸女学院大学の石川康宏教授による情勢の講演を聞きました。自民党の憲法草案の危険な中身は、内容を知らせていけば多くの人が賛成しがたいものになるので、学び広めることが重要だと言われました。

職場からの、「日勤・深夜勤務を正循環にした取り組み」「職場討議をすすめた経験」「准看護師アンケートと110番の取り組み」の報告がありました。基調報告では、「心身にやさしい夜勤にむけて正循環と週32時間にするために夜勤のための勤務免除（準夜の後の休み）を勝ち取ることを目指して、秋のキャラバン行動や署名活動に力を入れること、『5局長通知』や『看護協会のガイドライン』を活用して、職場の改善に取り組もうと提起されました。

2日目は、職場ごと（病棟とオペ室・透析室・外来と在宅・訪問看護）に分かれて討論をおこないました。人手や夜勤など職場の問題がだされ、職場の状況をリアルに伝え、署名やキャラバンなどの行動に取り組み、職場環境を改善していくことが大切だと感じました。

「知ってください 看護師が足りません」東京医労連看護闘争委員会が作成

この看護集会で、東京医労連看護闘争委員会のパンフが配布されました。「うちの職場もそうだよ」と大変好評なので、すこしづつ内容を紹介したいと思います。パンフのPDFは東京医労連のホームページに記載されています。

救急車は断りません！でも・・・

二次救急指定病院です。救急搬送は断らずに受け入れています。夜間は救急外来と救急病棟（12床）を看護師3人で担当します。緊急の内視鏡検査にも対応します。入院患者さんは、重症度・緊張度も高くて目が離せません。不穏状態になった患者さんの対応もあります。患者さんの安全、看護師の安全を守るためにも増員が必要です。

夜中は仮眠もとれずに動き回っていることもしばしば



夜勤実態調査の締め切りは9月末まで延びました。
まだの単組も間に合います！よろしくお願ひします。